

募集要項 2027

一般財団法人 ASICS Foundation

助成事業概要

助成目的

ASICS Foundation は、運動・スポーツのアクセシビリティを向上させることで、すべての人が運動・スポーツを通じて心身共に健康で居られる世界の実現を目指しています。スポーツを通じて社会的課題に取り組み、人々のスポーツへのアクセシビリティを向上させる取り組みを支援します

日本語で申請される団体の皆様へ

ASICS Foundation の国内助成には、2つのコースがあります。

- 海外を活動拠点とする団体：【コース A】 を選択し申請してください。
- 国内を活動拠点とする団体：【コース A】 または 【コース B】 のいずれか適当な方を選択して申請してください。

	コース A	コース B
特徴	プログラムの発展・強化を目指す	団体の運営基盤向上を目指す
団体資格	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本語で申請する、海外で活動する非営利団体 または ■ 活動実績 3 年以上の国内非営利団体 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 活動実績 1 年以上の国内非営利団体
支援対象	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年：インド・ベトナム・インドネシア・カンボジア ■ 障がい者：日本 ■ 女性：インド 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障がい者：日本
助成期間	最長 3 年間	最長 3 年間
助成金額	上限 500 万円/年	上限 100 万円/年
募集〆	2026 年 4 月 30 日(木) 23:59 (日本時間)	

はじめに

ASICS Foundation は、運動・スポーツのアクセシビリティを向上させることで、すべての人が運動・スポーツを通じて心身共に健康で居られる世界の実現を目指しています。

スポーツには人々の心と身体を健やかにし、希望や勇気を生み出す力があります。経済的・社会的に困難を抱える個人がスポーツを通じて課題を克服し、希望や勇気を持つようになること、誰もが運動・スポーツにアクセスできるようになること、そして次世代にスポーツ文化や価値を継承していけることが Sound Mind, Sound Body の実現になると信じています。



目次

はじめに	3
【コース A】	5
支援対象	5
助成期間・助成金額	5
支援対象となる活動	5
【コース B】	6
支援対象	6
助成期間・助成金額	6
支援対象となる活動	6
適格要件	7
選考	8
選考スケジュール	8
応募方法	8
選考基準	9
申請書類一覧	10
採択後の流れ	11
採択後の 1 年間のスケジュール例	11
プログラム実施期間中について	12
Q&A	13
留意事項	15

助成プログラム【コース A】

支援対象

ASICS Foundation は「誰もが運動・スポーツの機会にアクセスできているわけではない」という現状を課題として認識しています。特に経済的・社会的に困難な状況にある青少年、障がい者、女性が直面するスポーツの課題解決に取り組む団体を支援します。

受益者ターゲット	地域
青少年	インド・ベトナム・ インドネシア・カンボジア
障がい者	日本
女性	インド

助成期間・助成金額

助成期間：2027 年 1 月-2029 年 12 月（最長 3 年間）

・原則、プログラム実施期間は 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間です。

助成金額：上限 500 万円/年

- ・原則、会計年度は 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間です。
- ・直接費は年度給付額の 90%、間接費は 10% を上限とします。上限を超える間接費が必要な場合は、事前に事務局へご相談ください。妥当と判断された場合のみ、上限を超える助成を認めることがあります。
- ・予算計画は原則、現地通貨で作成してください。（日本円での作成も可。）
- ・最終的な助成金額は選考を経て減額修正することがあります。

支援対象となる活動

- ・スポーツアクセス向上によって受益者の行動やマインドの変化を促進する活動
- ・スポーツを媒体として社会課題への認知向上や課題解決を働きかける啓発活動

活動例：

1. 子どもたちが運動・スポーツを通して心身ともに健康となり、生きていくために必要なライフスキルを身に付け、平和な地域社会の構築を目指す活動。
2. 障がい者が運動・スポーツを身近に楽しめる環境整備や指導者育成、継続支援を通じ、地域のインクルーシブな共生社会を促進する活動。
3. 男女格差のある地域において、ジェンダーインクルーシブなスポーツ活動を実施し、参加者が安全で心理的に快適なスポーツとなるよう配慮し、ジェンダー不平等の是正を目指す活動。

助成プログラム【コース B】

支援対象

ASICS Foundation は、「誰もが運動・スポーツの機会にアクセスできているわけではない」という現状を課題として認識しています。また、国内の障がい者スポーツ支援団体においては、人材確保の難しさや、ボランティア等の熱意に支えられながら活動しているような運営体制も実態としてあり、組織基盤の強化が十分に進んでいない状況も課題の一つとしてとらえています。本コースでは、障がい者への継続的なスポーツ活動の提供に加え、組織の運営基盤の向上に取り組む団体を支援します。

受益者ターゲット	地域
障がい者	日本

助成期間・助成金額

助成期間：2027年1月-2029年12月（最長3年間）

- ・原則、プログラム実施期間は1月1日から12月31日までの1年間です。

助成金額：上限100万円/年

- ・原則、会計年度は1月1日から12月31日までの1年間です。
- ・直接費用は年度給付全体額の70%、間接費用は年度給付全体額の30%を上限とします。
- ・最終的な助成金額は選考を経て減額修正することがあります。

支援対象となる活動

- ・スポーツアクセス向上によって受益者の行動やマインドの変化を促進する活動
- ・指導者の育成に寄与する活動
- ・他団体との連携や外部講習会の参加を通じて団体の運営基盤向上に寄与する活動

活動例：

1. 定期的なスポーツ教室やクラブ活動
2. 障がい者と健常者の合同スポーツイベント
3. パラスポーツ指導者資格取得の支援や指導者のキャパシティビルディング向上につながる活動

適格要件

共通要件

申請団体は以下の要件を満たすこと：

- ・法人格を有する非営利団体であること
- ・政治的・宗教的活動を伴わないこと
- ・反社会勢力でないこと、反社会勢力とのいかなる関わりもないこと
- ・性的搾取・虐待・ハラスメント・あらゆる差別の禁止に取り組むこと
- ・活動の直接実施団体であること
- ・活動拠点において、実在する事務所を有すること
- ・日本語または英語でのコミュニケーションが取れること
- ・団体の銀行口座を有しており、日本から助成金が受け取れること

【コース A】要件

申請団体は以下の要件を満たすこと：

- ・3年以上の活動実績があること
- ・地域の法的要件がある場合はそれを満たしていること（例：インド FCRA 取得義務 等）

【コース B】要件

申請団体は以下の要件を満たすこと：

- ・1年以上の活動実績があること

選考

選考スケジュール

募集期間：2026年3月1日-2026年4月30日 23:59（日本時間）厳守

選考の流れ

1. 1次選考（書類選考）：2026年5月1日-7月10日
1次選考結果は2026年7月中旬までにメールにて通知します。
2. オンライン面談（1次選考通過団体と事務局）：2026年7月14日-7月31日
現地視察における安全面の配慮や日程調整などについてヒアリングを実施します。プログラム訪問先の情報について簡単な資料作成をお願いする場合があります。
3. 2次選考（現地視察及びプレゼンテーション）：2026年8月-9月下旬
1次選考における評価点や疑問点等、選考者コメントを共有しますので、それを参考にプレゼンテーションを作成いただきます。
2次選考結果は2026年10月中にメールにて通知し、その後 ASICS Foundation 公式ホームページ等で発表します。

応募方法

- ・申請に必要な書類を [ASICS Foundation 公式ホームページ](#) からダウンロードしてください。
- ・ASICS Foundation 公式ホームページにて応募するコースを選択し、応募フォームに必要事項を入力の上、必要書類を添付して応募してください。
- ・添付書類は、活動計画書及び予算計画書は **Excel ファイル形式** で、その他はすべて PDF で提出してください。
- ・応募言語は日本語または英語です。
- ・【コース B】の申請のみ応募申請フォーム提出後、応募申請受付完了画面が表示されます。万が一、申請が完了できない場合は、問い合わせメールアドレスまでご連絡ください。

選考基準

課題・現状理解

- ・ 地域に受益者のスポーツ活動が制限されるような経済的・社会的困難はあるか
- ・ 解決すべき社会課題や受益者の情報収集および分析を行っているか
- ・ なぜスポーツの介入が必要なのかを明らかにしているか

プログラムの質

- ・ プログラムは Sound Mind, Sound Body（スポーツを通じた心身の健康）を実現できるか
- ・ スポーツの有する特性が課題解決に向けて最大限に活用されているか

インパクト創出

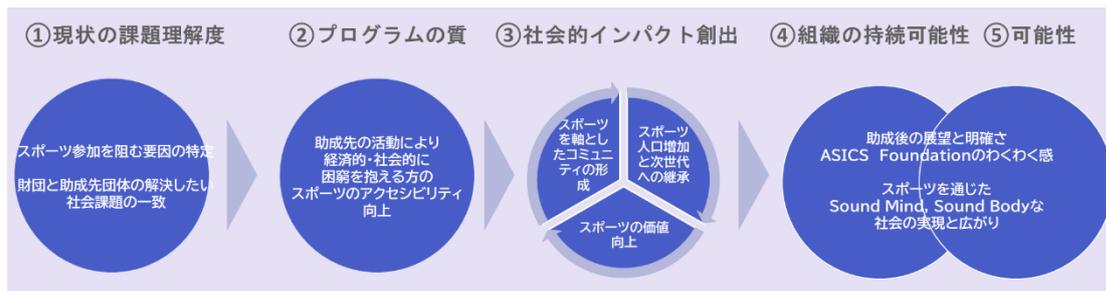
- ・ 具体的かつ測定可能な目標が設定されているか
- ・ スポーツプログラムによって受益者の継続的なスポーツのアクセシビリティ向上や受益者の成長・変化が期待できるか
- ・ スポーツ活動と解決したい課題への目標に一貫性があるか

組織体制・プログラムの持続可能性

- ・ 組織の体制は十分に整備されているか（人材配置、役割分担、コーチの能力開発・指導環境の整備等を含む）
- ・ プログラム持続に向けて、継続的な工夫・改善を図れているか

プログラムの可能性（ポテンシャル）

- ・ 将来的に意義のある活動になるか
- ・ スポーツの可能性にワクワクすることができるか



申請書類一覧

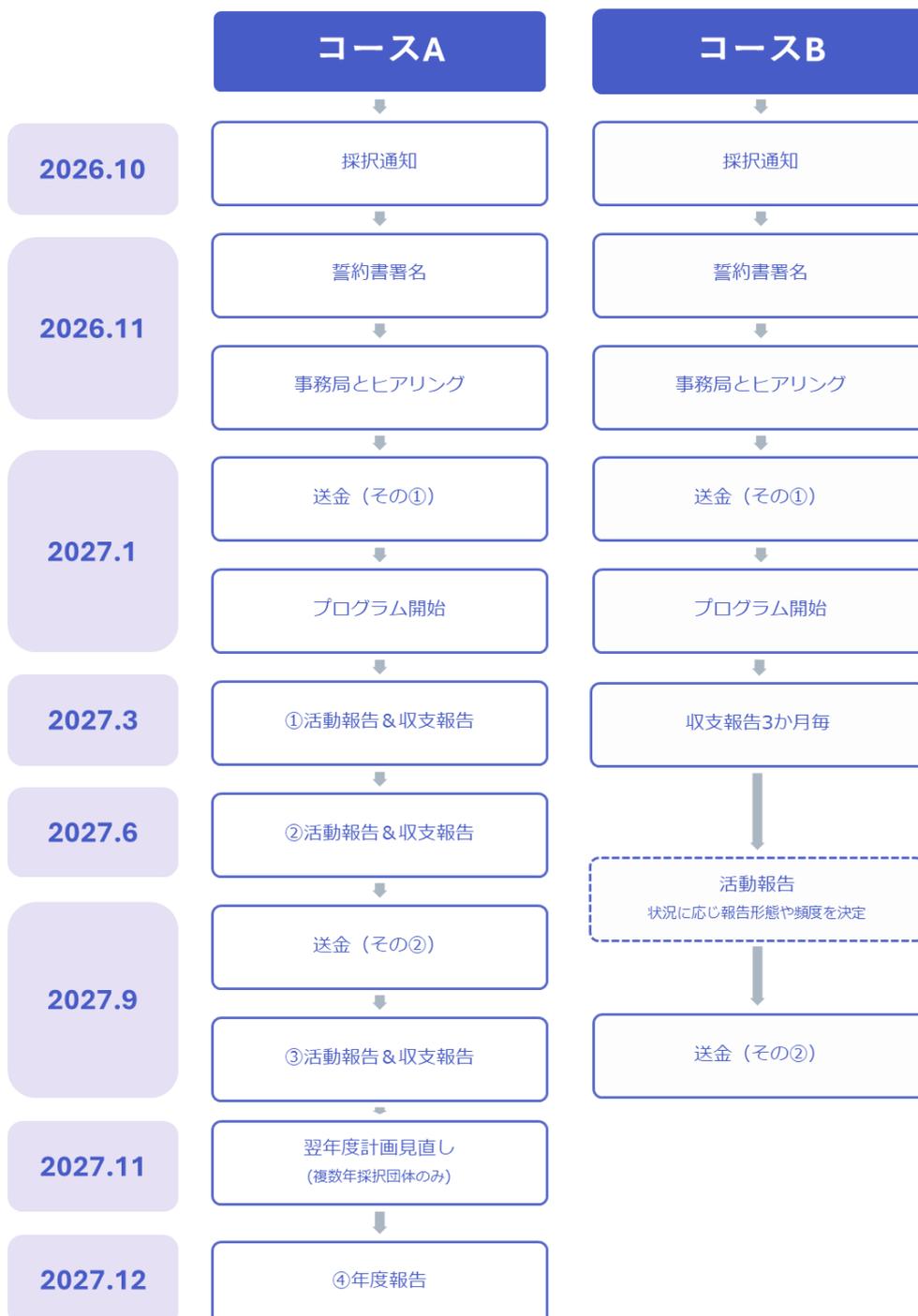
申請書類は以下の通りです。

	コース A	コース B
応募 フォーム	・ 応募申請書 (Word⇒PDF 化)	・ 応募申請 (Microsoft フォーム)
必須添付書 類(Excel)	① 申請期間分の活動計画書 ②-1 申請期間分の収支予算計画書 ②-2 収支概要	① 申請期間分の活動計画書 ②-1 申請期間分の収支予算 計画書 ②-2 収支概要
必須添付書 類 (PDF)	① 過去 3 年分 の事業報告資料 ② 過去 3 年分 の決算告資料(可能な限 り予算計画対比を把握できる形式) ③団体登録証明書(例:定款・履歴事 項全部証明書 等) ④役員名簿 ⑤組織図 ⑥ セーフガーディングポリシー ※ただし、日本国内が活動拠点とな る場合は、その限りとしない。 ⑦地域における法的要件がある場 合、その証跡(例:インドの FCRA 取 得 等)	① 直近年度 の事業報告資料 ② 直近年度 の決算告資料 ※ただし、過去 3 年分の決算 資料の提出が望ましい。 ③団体登録証明書(法人格を 有する場合は定款・履歴事項 全部証明書 等) ④役員名簿 ⑤組織図
任意書類	・ その他必要とみなされた書類	・ セーフガーディングポリシ ー ・ その他必要とみなされた 書類

- ・ 活動計画書の書き方については、Excel 内の【例】Sheet を参照してください。
- ・ 予算計画書の書き方については、Excel 内の【サマリー】Sheet を参照してください。

採択後の流れ

採択後の1年間のスケジュール例



プログラム実施期間中について

支払い

- ・助成金額の規模に応じて、収支計画に基づき最大4回の分割払いとします。
- ・助成金の交付内容および条件に適合していると確認した場合、助成金額を確定し、「助成金交付額確定通知書」を送付します。この通知書の送付をもって、助成金額の確定とします。
- ・助成金は応募申請時の通貨もしくは米国ドルでの交付とします。

活動報告

- ・プログラムを通じてリーチした受益者数の報告を依頼します。
- ・プログラムの様子がわかる写真や動画の提出を依頼します。
- ・【コース A】プログラム実施期間中は活動内容について3か月ごとにレポートを提出してください。
- ・【コース B】採択後に事務局とヒアリングを行い、団体の状況などを考慮して報告の形態やその頻度を決定します。

収支報告

- ・プログラム実施期間中は収支状況について3か月ごとにレポートを提出してください。なお、領収書は提出必須となるため、原本を大切に保管してください。

予算計画・活動計画の更新

- ・複数年で採択された場合、年度ごとに助成継続可否の判断が行われます。
- ・複数年で採択された場合、11月に翌年度の予算計画・活動計画の更新を行います。

プログラム完了報告

- ・プログラム完了から1か月以内に事業報告書を提出してください。

広報発信

- ・採択団体は ASICS Foundation から助成支援を受けていることを公式ホームページや SNS にて明示することが求められます。
- ・ ASICS Foundation 公式ホームページや SNS にて活動の様子の写真やビデオを発信しプログラムの成果、参加者の声、体験を紹介することがあります。

アンケート・ヒアリング

- ・ ASICS Foundation からアンケートやヒアリングの依頼をする場合があります。

Q&A

1. 活動について

Q:支援の対象とならない活動には何がありますか？

A:支援の対象とならない活動は以下の通りです。

- ・個人への奨学金
- ・単発的なイベント活動
- ・プロアスリートの育成活動
- ・物品提供を目的としたスポンサーシップ活動

Q:どのようなスポーツ活動が支援の対象となりますか？

A:いかなるスポーツも活動の対象となります。競技スポーツに限らず、体を動かすレクリエーションや運動遊びなどもスポーツと定義します。

Q:e スポーツも活動内容として申請できますか？

A:e スポーツについては、「身体活動が伴うもの」に限り申請の対象となります。

ただし、戦闘系ゲームなど、手先の操作が中心で身体を大きく動かさないものは対象外となります。

2. 経費について

Q:各費目の上限設定は申請団体独自の規定に基づいて設定して良いですか？

A:各費目に上限は設けておりません。人件費の割合や謝金の上限額などは申請団体の判断に委ねるものとします。

Q:複数年で採択された場合、助成期間中に予算を変更することができますか？

A:【コースA】、【コースB】ともに11月に活動計画と予算計画の見直しを行います。その他、やむを得ず予算の変更が生じる場合は、速やかに事務局までご連絡ください。

3. 応募について

Q:複数の事業をしているのですが、それぞれの事業で申請を出すことができますか？

A:申請できるのは1団体当たり1プログラムのみです。

Q:適格要件にある「実在する事務所」に代表者の自宅は該当しますか？

A:代表者の自宅が事務所として登録されている場合はこれに該当します。

Q:適格要件にある「実在する事務所」に、シェアオフィスは該当しますか？

A:法人団体向けシェアオフィスが事務所として登録されている場合のみこれに該当します。ただしバーチャルオフィスは現地事務所として認められません。

Q:海外を活動の拠点としている団体です。セーフガーディングポリシーがない場合でも申請できますか？

A:別途、事務局までご連絡ください。

Q:応募後に記載を忘れてしまった項目があるのですが、再提出は可能ですか？

A:応募後、基本情報（住所・電話番号・メールアドレス）以外は変更致しかねます。

Q:助成期間中に、コースを変更することはできますか？

A:認められません。

留意事項

- ・応募書類に記載された情報は選考及び統計資料の作成、運営の目的に限り使用します。応募者の同意なく上記目的以外に使用することはありません。
- ・財団の助成の対象となったプログラムの成果物について著作権はすべて助成団体に属します。ただし、助成団体の同意を得られた場合に限り、団体に提出された報告をもとに、ASICS Foundation が出版物等を作成することがあります。
- ・採択後は助成金交付要綱の内容を遵守していただきます。
誓約書に反する行為が確認された場合、助成金の交付決定を取り消し、すでに交付した助成金の返還を求めることがあります。主な対象事由は以下のとおりです。
 - 助成金を助成事業以外の目的で使用した場合
 - 助成事業に関して不正行為、怠慢、その他不適切な行為があった場合
 - 事業変更等により、助成事業の継続が不要となった場合
 - 報告書の内容や提出において不適切な行為があった場合
 - その他、交付決定の取消しが相当と判断される重大な事由が生じた場合
- ・ご不明な点等ございましたら、下記のメールアドレスまでお問い合わせください。
ahq-foundation@asics.com